

「21世紀における農業農村開発協力の展開方向」

～ 食料・環境 生命と地球の未来を守るために ～

かんがい排水審議会国際部会報告

平成10年10月

「21世紀における農業農村開発協力の展開方向」目次
～ 食料・環境 生命と地球の未来を守るために ～

はじめに

・ 開発途上国の農業農村開発を巡る状況	5
1 . 地球的規模の問題	5
(1) 世界の食料問題	5
(2) 貧困問題	5
(3) 地球環境問題	7
2 . 農業農村開発協力の世界的変化	9
(1) 開発視点の多元化・多様化	9
(2) 国際協調	11
(3) 被援助国の増加とNGOの台頭	12
3 . 日本のODAを巡る状況	13
(1) 我が国の国際協力の基本理念	13
(2) ODAの経緯と近年の状況	14
・ 我が国の農業農村開発協力の実績と評価	16
1 . 農業農村開発協力の経緯と実施体制	16
(1) 経緯	16
(2) 協力形態と実施体制	16
2 . 農業農村開発協力の実績	17
(1) 専門家派遣	17
(2) 専門家派遣以外の二国間協力	18
(3) 国際機関等を通じた協力	21
(4) 構造改善局ODA	22
3 . 農業農村開発協力の評価	24
(1) 協力形態別評価	24
(2) インドネシア、タイへの協力評価	25
・ 農業農村開発協力の新たな視点	29
1 . 食料の安全保障	29
2 . 地球環境の保全	30
3 . 農業振興による農村社会開発	30
4 . 「人づくり」の推進	30
・ 農業農村開発協力の展開方向	32
1 . 「村づくり」を核とした地球的規模の食料・貧困・環境問題への対応	32
(1) 「村づくり」の意義	32
(2) 「村づくり」を核とした展開方向	32

2 . 食料の安全保障強化のためのかんがい開発の着実な推進	35
(1) かんがい開発の必要性	35
(2) 参加型かんがい管理の推進	36
3 . 持続的な農業農村開発のための技術開発	37
4 . 地域の発展段階に応じた協力	40
(1) 人間開発の現状と協力の展開方向	40
(2) 地域別の展開方向	45
(3) プロジェクト方式技術協力の展開方向	48
5 . 効果的・効率的な協力の推進	48
(1) A R D E C を中心とした情報整備	48
(2) 優良案件の形成と事業評価	49
(3) 人材の育成・確保	50
(4) 国際的連携の推進	50
(5) 開かれた協力の推進	50